

- BankART Under 35 2021 開催！
- BankART AIR 2021 SPRING OPEN STUDIO 開催！
- バンカースクール5月-6月期の講座(予定)
- R16スタジオ終了のお知らせ
- BankART Temporary 満期終了のご報告

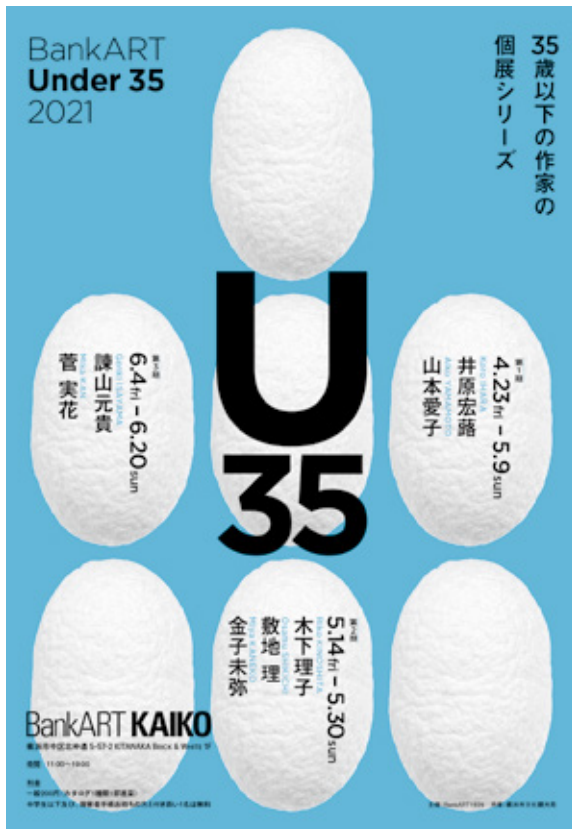
# BankART NEWS Vol. 20

発行: BankART1929  
2021年4月8日発行

## BankART Under 35 2021 開催！

会場 | BankART KAIKO(横浜市中区北仲通5-57-2- KITANAKA BRICK & WHITE 1F)  
みなとみらい線「馬車道駅」2a出口直結徒歩1分

BankART1929の2021年度の最初の企画展は「BankART Under 35 2021」という35歳以下の作家の個展のシリーズです。2008年からこれまで39チームのクリエイターが選ばれて、展覧会を開催してきました。2021年度は7名の作家を3期にかけてご紹介します。



### これまでのU35個展開催作家

- 2008** 田中功起、松田直樹、菊地 宏、ヤング荘、村田峰紀、SHIMURABROS.、矢内原充志、西田 司 / 藤村龍至
- 2011** 西原 尚、秦 雅則、奥村昂子、浅井裕介、成瀬友梨+猪熊 純、中谷ミチコ、藤村 豪&内野清香、潘 逸舟、大西麻貴+百田有希
- 2012** 木村宗平、幸田千依、高山陽介、古久保憲満 / 松本寛庸、柵瀬茉莉子、丸山純子
- 2014** 上村卓大、山下拓也、キル・チョシル、谷村真理
- 2017** 片岡純也+岩竹理恵、廖震平、七瀬綾乃、高原悠子、水口鉄人、小穴琴恵・衣真一郎・古橋 香
- 2019** 藤本 涼、遠藤章子

時間 | 11:00~19:00  
料金 | 一般200円 (カタログ1種類1部進呈)  
中学生以下及び、障害者手帳お持ちの方と付き添い1名は無料  
※各作家の個人カタログ (A4版/16~24p)

### 第1期:4月23日~5月9日 井原宏落、山本愛子



### 第2期:5月14日~5月30日 木下理子、敷地理、金子未弥



### 第3期:6月4日~6月20日 諫山元貴、菅実花



## BankART AIR 2021 SPRING OPEN STUDIO 開催！ @ BankART Station

### 参加作家

- 高橋美乃里
- 橋村至星
- 窪田久美子
- リン・チャーチル
- 葉栗 翠
- 片岡純也+岩竹理恵
- 三枝 聡
- ピコ コンドウ
- 松本恭吾
- 細淵太麻紀
- 嶋崎美音
- 秋山直子
- 照沼晃子/ちゃぶダイブ
- 関 和明
- 渋谷 薫
- 山岡瑞子
- 新江千代
- 土屋信子
- 敷地理
- 秋山夏海
- 金子未弥
- 渡辺 篤



会期 | 2021年5月28日[金]~30日[日] 6月4日[金]~6日[日] 11:00~19:00

会場 | BankART Station(横浜西区みなとみらい5-1 新高島駅B1F) 入場無料

BankART Station では、現在22組のアーティスト達が、4月1日から約2ヶ月間、制作活動をおこなっています。基本的には、制作場所(スタジオ)の公開ですが、4月~5月に制作した成果物も発表します。是非皆様、お気軽にご参加ください。

### 【アーティストトークスケジュール】

全5回、金曜、土曜開催 会場: BankART Station \*ご参加はワンドリンクのオーダーをお願い致します。週末に恒例のアーティストトークを行いたいと思います。皆さまお誘い合わせの上、ご参加下さい。メールにてご予約をお願い致します。(定員30名) info@bankart1929.com

- 第1回 4/16(金) 19:30~21:00 土屋信子/片岡純也+岩竹理恵/窪田久美子/秋山直子
- 第2回 4/24(土) 18:30~20:00 渡辺 篤/関 和明/三枝 聡/葉栗 翠/橋村至星
- 第3回 5/7(金) 19:30~21:00 リン・チャーチル/秋山夏海/金子未弥/新江千代/高橋美乃里
- 第4回 5/21(金) 19:30~21:00 敷地理/細淵太麻紀/山岡瑞子/ピコ コンドウ
- 第5回 5/29(土) 18:30~20:00 照沼晃子+ちゃぶダイブ/松本恭吾/渋谷 薫/嶋崎美音

## バンカースクール今後の講座(予定)

BankART school 2021年に開講予定の講座が決まりました。(詳細はHPなどで後日発表)

- 「パブリックアート再考」村田 真
- 「横浜アーバンデザイナー列伝」
- 「仮面考——マスクの時代に」今福龍太

BankART schoolの概要 | 時間= 19:30~21:00  
会場= BankART KAIKO、BankART Stationにて  
料金= 1講座12,000円 入学金3,000円(初めての方のみ) 定員= 16名  
お申し込み方法 | ①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・電話のいずれかにてお知らせください。  
お申し込み・お問い合わせ | BankART スクール事務局  
school@bankart1929.com TEL 045-663-2812





## R16スタジオ終了のお知らせ

2018年から活動を続けてきた、R16スタジオ（高島町の東横線廃線跡高架下）での活動が、耐震的な調査の結果、2021年4月からの使用は不可能ということになりました。（6月末迄は安全率の高い7ブロックのみを倉庫として活用）。

作品を制作するには、風雨などの条件で決してコンディションの良い

空間とはいえませんでした。クリエイターの皆様は各自工夫して、活発な活動を行い、名作を制作発表してくれました。

みなとみらい21と旧市街地の接続線にあたる可能性のある空間が、今後、市民に開かれていくことを強く願いたいと思います。

（BankART1929 HPより）



### ふたつのお月さん 2021年3月13日

1昨年、R16スタジオで閉じられたコンクリート部屋の中で一週間、「ひきこもり」を行った渡辺篤さんが、今度は国道16号線沿いの自身のアトリエを開き、豊かな表情のお月さんを披露している。

直系3mの円盤に、世界中の人が撮影した1,000枚にも及ぶ月のデータを集め、それをコーディネート、映像化して、ひとつのお月さんの満ち欠けを演出している。R16スタジオは文字通り国道16号線上にあり、いつもならいそいそと歩道をいく人は、道に咲いた不思議な月の花を驚きながら、でもその優しい表情に安堵を感じながら見入り、立ち止まっている。

もうひとつの月は、みなとみらい線の新高島駅の近の高層ビルの建築現場だ。鹿島建設が推進するその建物の高層部分は、いまボリュームができあがり、現在はそのサイドに計画されている2～3F建ての飲食モールが建築中である。その延長線上には、近い将来プラネタリウムとして開館される、大きなコンクリートの球体が姿を現しはじめている。遠くから見るとガスタックのような趣だが、高速道路と高層ビルに囲まれた不思議なポジションにたつ不思議な存在は、歩く人に渡辺さんの月と同様に、東の間の安堵を与えてくれる。強い光を放つ発光体である太陽に比べて、月は世界中のだれもが接することができるやさしい存在だ。全てを受け入れる受動体としての柔らかい月の表情は都市には少なからず必要なものだ。（BankART1929ブログより）

渡辺 篤 / アイムヒア プロジェクト「同じ月を見た日」

2021年2月28日(日)～3月21日(日) @ R16 studio内



## BankART Temporary 満期終了のご報告

BankART Temporary (旧第一銀行)での活動が2021年3月31日で終了した。もともと、横浜市文化観光局の諸事情でBankART1929が2020年度一年間だけ運営するというピンチヒッターとしての役割だったので予定通りの仕事納めだ。Temporaryという名称はそういう意味を含めて名付けたが、ロサンゼルス現代美術館の前史、フランク・ゲーリーが設計した「テンポラリー・コンテンポラリー」のかっこよさを少しイメージしたのは事実だ。これは先行でオープンしたプレミュージアムが、本体のロス美術館が完成しても継続運営されているとう、いかにもアメリカらしいブロードウェイ方式の美術館だ。

2020年度どんな活動を行ったか記してみよう。

4月～5月コロナ禍最中で何もできなかった。

6月～8月は、1Fの大きな空間を二人のアーティスト(松本秋則、高橋啓祐)に「緑陰図書館」というコラボレーション作品を制作してもらった。

3Fでは、スタジオプログラムBankART AIR 2020 @Temporary

9月からは、「都市への挿入/川俣 正～BankARTLife VI」。横トリ2020と連動して、建物の内外、馬車道駅でインスタレーション作品を制作。併行して、馬車道駅構内で横浜市が企画するCreative Railwayで、「駅なか動物園」を展開した。

10月末～12月は、「M meets M」。建築家の村野藤吾と横文彦の個展を連動させた。(村野展は道路を挟んで真向かいのBankART KAIKOで開催)

1月～2月はTPAM – 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 2021

3月は多摩美プロダクトデザインや和光大学等の卒展が続き、後半はNibrollや中村恩恵氏のダンスイベントが続いた。

BankARTの関わりは主催、共催、コーディネート、協力など様々だったが、一年間を元気良く走り続ける事ができたと思う。

北仲地区は、BankART1929が生まれた2004年の頃とは異なり、現在は横浜市新市庁舎や三井の超高層マンション、アパホテル、ロブウェイ等の大型の開発事業が続いている。そうしたなか、この1929年生まれの石造りの元銀行はまわりの大きな変化の中でも、決してかたちを変えることなく、存在し続けるだろうと思う。短い期間だったが、そうした都市の定点ゾーンに関わられたことを、私たちは財産にしたいと思う。ありがとうございました。(BankART1929 HPより)



### 編集後記

2021年度4月からは、BankART1929の構成も変化し、馬車道のBankART KAIKOと新高島のBankART Stationの2館体制になった。また本来、来年度は運営事業者コンペがある予定だったが、横浜市の意向で、プラス3年のボーナスをいただいたので、初めての短期ではない継続運営になる。コロナ禍の中、なかなか安定したプログラムを構築することはできない時期が続くが、この2館をベースにやれることをきっちりやっていきたいと思う。そして、大きく変わり続ける横浜の街中でのプロジェクトも継続してトライしていきたいと思う。